県外小学４年生の校外学習への対応

10月９日午後１時～２時まで、ザザシティ５階浜松こども館「ギャラリー2」にて、茨城県開智望小学校４年生42名（他に引率７名）への「浜松の産業等」についての講習が行われました。

今回、昨年10月17日に実施された同校同学年への講習と同様のものが要請され、前回同様北ブロックの西村ブロック長及び田村事業部長が講師として対応しました。当校は、つくばみらい市にある学校法人開智学園（本部は埼玉県にあり、名誉学園長がノーベル賞受賞者の大村智氏）の小学校ですが、「生産活動は人々をつなぐ」というテーマの校外学習として浜松を対象とし、「繊維産業」「自動車・オートバイ産業」「楽器産業」について、学ぶことが目的とのことです。そのため９日から３泊４日で楽器博物館、静岡濾布、鈴木楽器製作所、昭和楽器製造、本田技研工業、スズキ歴史館等の訪問・見学を予定したとのことです。

当講習は、それに先立ち、「はままつ案内人」として浜松の全体的な説明を求められたものです。受講生は、昨年の24名に対して大幅に増加し、観光ボランティアガイド７名の聴講も含め満員でしたが、皆さん熱心に取り組んでいました。

講義に聴き入る４年生

講義は、昨年同様「やらまいか精神」で美しい自然環境を生かしながら発展してきた「ものづくりの町」としての浜松の特徴の説明から入りました。

次に浜松の産業として、日本一の生産を誇るミカン、ガーベラ、エシャレット、チンゲンサイが生産される農業。広大な森林面積を抱えており、天竜杉、ヒノキなどの出荷が伸びている林業。浜名湖で養殖されるうなぎ、アサリ、ノリなどを主とする水産業について説明をしました。工業では、繊維、楽器、オートバイの三大産業に加え光電子産業について、山葉寅楠、本田宗一郎、高柳健次郎等の先駆者が、産業の基礎を築いたこと等を説明しました。

また浜松が日本で一番のものとして、電子楽器（ローランド）、管楽器（ヤマハ）、光電子増倍管（浜松ホトニクス）等が挙げられ、浜松市の発展に尽くした人々18名の説明も行われました。

今回の取材を通し、私たち「はままつ案内人」は、広く全般を把握したガイドも行えるよう企業訪問等による理解を深めることも大切であると思いました。　　広報部　植田善和（北ブロック）

事業部主催「東小学校ふるさと講座」実施

10月30日、東小学校３年生を対象とした「ふるさと講座」が同校のポプラホールで行われました。児童64名が参加し、事業部員から「浜松まつり」について学びました。

部員手作りの紙芝居を使って浜松の凧揚げの歴史が語られました。半帖程の凧を展示して一般の凧との違いや特徴の説明、明治時代の大八車から現在の御殿屋台への移り変わりなど、まつりが身近な児童達には興味深い内容で、本物のテギや凧糸に触れて凧揚げ気分を体感した様子でした。

紙芝居に熱心な様子

何人で凧をあげるの？　なぜ凧には町名が？ なぜ凧は正方形なの？ 合戦で落ちた凧はどうなるの？ 等々、質疑応答の後、校内チャイムと同時に約１時間の講座が終了しました。　広報部　藤田礼子（中ブロック）

11 月号の発行をもちまして、節目の**通算 200 号**となりました。
これもひとえに会員皆様のご協力のおかげと感謝いたします。今後も会報作りに精進したいと思いますので、皆様からの投稿文をお待ちしています。よろしくお願いします。　　広報部員一同

研修部主催「佐鳴湖周辺現地研修」

スタート地点のボランティア会員

10 月 26 日、研修部主催の「佐鳴湖周辺現地研修」が行われました。参加者は 56 名。佐鳴湖は浜松市西区にある湖。一周 5.5km、面積 1.13 平方 km、平均深度 2m。浜松市のホームページによると水質は、平成 13 年度以降ＣＯＤ(化学的酸素要求量という水の汚染度の指標)が６年間ワースト１位となっていましたが、平成 24～28 年度はワースト８位、５位、４位、14 位、４位と推移しています。

気温 22 度、晴れ、歩いているとポカポカとしてやや汗ばみ、風が強い所では逆に少し寒くなりますが、薄いウィンドブレーカーを羽織ればちょうど良いというウォーキングには絶好の天候でした。

朝９時に佐鳴湖の一番南側から歩き始め、元の場所に戻ってきたのはちょうど 12 時でした。そんな佐鳴湖ですが、湖を一周する遊歩道には、せせらぎ水路、木道、撮影スポット、休憩所、トイレが設けられ、誰でも気軽に快適なウォーキングを楽しめるようになっていました。

せせらぎ水路を行くボランティア会員

湿地帯の説明を聞くボランティア会員

湖岸の遊歩道から離れた舘山寺街道沿いの山手にお寺が三つあり、それは「法林寺納豆」の寺として有名な法林寺、聖徳太子の像（高さ 5m）のある宝蔵寺、真田幸村の九女の墓（姫塚）がある両光寺です。「富塚」の語源の一つといわれる「意冨塚横穴」にも立ち寄りました。

山手のお寺のあとはまた湖に戻り西岸を歩き、ひょうたん池の休憩所で休憩。ここで研修部から団子が配られ、おいしくいただいて疲れも吹き飛びました。

休憩所そばの「伊能忠敬測量碑」、どんなものか非常に期待していたのですが、伊能忠敬がこの付近で測量の杭を打ったという説明のアルミパネルのみでがっかりしました。簡単なモニュメントでもあればぐっと親しみも持てるのにと思いました。佐鳴湖八景歌碑は大きな薄い石の柱に、入野の文学者竹村広陰が佐鳴湖の風景を歌った短歌が刻まれていて見ごたえのある風景となっていました。

佐鳴湖八景歌碑

ウォーキングの最後に訪れた龍雲寺は研修スタート地点の本所サンサン駐車場から少し東に歩いた所にあり、平成の小堀遠州と称される当代随一の庭師　北山安夫氏による庭園が本殿の前に広がり、新築された涅槃堂には、ダウン症の天才書家「金澤翔子」さんの「世界一大きい般若心経」(横 16m×縦 4m)が奉納されていて、その大きさと迫力には圧倒されました。庭園も書画もすべて拝観可能でしかも無料です。必見の観光スポットとしてお薦めです。研修部の方々の綿密なる調査と企画、適切で心配りのある案内のおかげで楽しく充実した研修ができたことを感謝いたします。　広報部　花尾四郎（北ブロック）

龍雲寺・世界一大きい般若心経（金澤翔子書）

会員の交流広場

「長久手合戦史跡を巡って」

６月に研修部主催による小牧・長久手の戦いの陣が置かれた「小牧山城・犬山城現地研修会」に行ったが、戦いの場であった長久手古戦場の史跡を、まだ夏の日差しの暑い８月 29 日に巡った。

１．長久手古戦場公園へ

始めに、史跡の資料を入手するためと長久手の戦いの概要を知るために長久手古戦場公園にある長久手市郷土資料室に行った。

資料室には管理人が一人いて、一階に喫茶室が設置されていた。一階展示室にはパンフレットが置いてあり、「長久手合戦史跡めぐり」「色金山(いろがねやま)歴史公園・古戦場公園」「シティガイドマップ長久手」を入手した。

展示室には小牧・長久手の戦いについて「発端」「岡崎侵攻作戦」「岩崎城落城」「白山林の戦い」「桧ヶ根の戦い」「仏ヶ根の決戦」「和睦」の７枚の解説パネルが展示され、戦いの経緯が分かりやすく説明されていた。

解説パネル

合戦舞台の地形模型

また、部屋の中央に直径 2m 近くの「合戦舞台の地形模型」が置かれていて、スイッチを入れると説明が流れ、視覚的に戦いの進行が分かるようになっていた。本来は、説明に従って隊の進行が豆電球によって示されるものであったが、故障したままで、電球は点かなかった。

ボランティアガイドは駐在していなかったが、解説パネルと「合戦舞台の地形模型」から流れる説明によって、長久手の戦いの進行状況を理解することができた。

古戦場公園に出て、この仏ヶ根で討たれた池田恒興の勝入塚(しょうにゅうづか)を確認した。その長男元助の庄九郎塚も林の中に残されていた。何れも国指定史跡である。

勝入塚

続いて、徒歩で御旗山に向かった。ここは古戦場公園から 900m 程で、家康が頂上に金扇の馬印を立てた国指定史跡である。しかし、猛暑の中で暑かったので途中で引き返して、車で色金山(いろがねやま)歴史公園に移動した。

２．家康が陣を張った色金山歴史公園へ

色金山は長久手の戦いの際に家康が陣を張って軍議を開いたといわれる小高い山である。

駐車場からやや涼しい木陰の坂道を上って暫らく行くと、床几石(しょうぎいし)広場に着いた。「床几石」は家康が軍議の際に腰かけたといわれる岩で、この周辺も国の史跡に指定されている。直ぐ近くに展望テラスが設置されていた。

色金山歴史公園にある床几石

今回の史跡巡りでは、長久手の戦いの状況や、戦いがあった場所を確認できて良かった。

暑い平日であったせいか、今回訪問した長久手古戦場公園及び色金山歴史公園の何れにも、我々二人以外には訪問客がいなかった。歴史を変えたといわれる長久手古戦場史跡としては、寂しい感じがした。

佐原正敏（中ブロック）

訃　報

富永喜代治さん（中ブロック 18 期）が病気のため、10 月 16 日に亡くなられました（享年 71 歳）。新人体験談で新人代表として立派なお話をされ、好評でした。

ご冥福をお祈りします。

観光関係優良従業員表彰

11月8日午後4時より、ホテルコンコルド浜松2階銀木犀において、(公財)浜松・浜名湖ツーリズムビューロー主催による「平成30年度観光関係優良従業員表彰式」が行われました。

写真左より 清水・大村・倉田・杉本さん

今年度の浜松地域における観光の発展に貢献されました、ホテル関係（4件）、交通関係（5件）、建設関係（1件）、団体関係（1件）の11団体から、25名の方が優良従業員として表彰されました。

浜松観光ボランティアガイドの会からは、大村眞佐夫さん（東ブロック）、倉田敏朗さん（西ブロック）、杉本忠久さん（南ブロック）、清水正之さん（中ブロック）の、いずれも9期生の4名の方が受賞されました。

表彰されました4名の方は、今後も健康に十分留意されて、後輩会員のご指導をよろしくお願いします。

広報部　小池輝夫（東ブロック）

１０月のガイド活動　≪明るく楽しくやらまいか≫

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。また、この3箇所の他に「浜松駅観光インフォメーションセンター」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

≪浜 松 城≫

複数回来場のあった団体			
	＊ クラブツーリズム	9回	374名
	＊ 桑名市高齢者歩こう会	2回	170名
1日	月	㈱阪急交通社	48名
3日	水	**入野中学校発達支援学級**	75名
日	木	**三ヶ日西小学校**	54名
		菰野町よもやま歴史サークル	44名
		曳馬小学校	143名
7日	日	中日新聞印刷㈱社員旅行	40名
		東部重機	32名
16日	火	**伊佐見小学校**	64名
		韮山農産物直売組合	65名
18日	木	袋井市立高南小学校	41名
		JA道央年金友の会	44名
19日	金	中瀬幼稚園	66名
		西都台小学校	59名
20日	土	玉城町役場職員親睦会	47名
25日	木	美波幼稚園	77名
		雄踏幼稚園	79名
		トヨタツーリストインターナショナル	32名
26日	金	湖西市立東小学校	65名
27日	土	台湾錦屏小学校	32名
30日	火	藤枝市立高柳南小学校	98名
＊		上記以外に29名以下の団体	700名

≪犀ヶ崖資料館≫

5日	金	**追分小学校**	26名
16日	火	**北浜中学校**	7名
		伊佐見小学校	64名
18日	木	袋井市立高南小学校	23名
		犬居小学校	10名
26日	金	**広沢小学校**	36名

≪浜松まつり会館≫

5日	金	第24回石塚アキレス会	22名
12日	金	JA県中央愛川年金友の会	88名
13日	土	上曽屋自治会	31名
18日	木	**二俣小学校**	55名
19日	金	**広沢小学校**	130名
		都道府県技術管理等主管課長会議	100名
23日	火	中川区老人クラブ連合会	87名
29日	月	大門大寿会	27名
＊		日曜対応(7、14、21、28日)	326名

はままつ案内人会報　200号

編集・発行　浜松観光ボランティアガイドの会

〒430-0946

浜松市中区元城町100-2　(浜松城内)

TEL＆FAX　053-456-1303

メールアドレス　mail@hama-svg.jp

ホームページ　http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人　検索